第２展示室　縄文時代から古代の生活と文化

縄文時代

約1万5千年前になると氷河期は終わり、温暖な気候となった日本列島では、山には木々が生い茂りたくさんの果実が実り、多くの動物が棲み、海や川でも豊富な食材を人々に与えました。土器の出現による煮炊きなどの調理の開始は、食生活をより豊かなものにしました。房総半島は、この時代の日本列島内で特に発展した地域の一つです。

縄文土器

弥生時代

2千数百年前、北部九州に水田稲作を伴う農耕文化が伝来すると、徐々に西日本各地に広まり、やがて関東地方にも伝わってきました。世界的に見ると、日本の農耕文化の開始は非常に遅く、水田稲作は約 7,000 年前に中国の長江流域で始まり、4,400 年前には山東半島に伝わったと推定されます。しかし、日本列島ではいったん水田稲作が広まると、たちまち農耕社会が成立し、縄文時代にはなかった「環濠集落」や有力者の墓として「方形周溝墓」が現れています。

小銅鐸（複製）

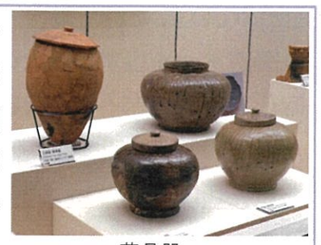
古墳時代

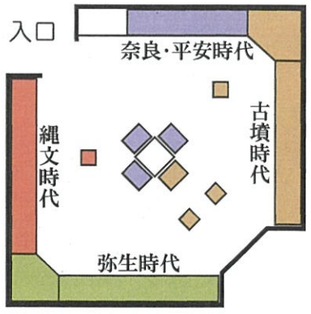
古墳時代は、稲作農耕を主な生業とする点で弥生時代とつながっているように見えますが、二つの時代の間には「王権」の誕生という大きな境界線があります。弥生時代後期は、各地の有力者たちがそれぞれ小国を統治するような状態でした。強大な中国王朝の存在は、国としてのまとまりをもたない倭（日本）の人々にとって大変な脅威でした。宗教的権威と武力によって各地の勢力をまとめ、中国王朝や朝鮮半島の国々と外交を結ぶヤマト王権が誕生しました。

土師器

奈良・平安時代

日本では、7世紀の末に中国の政治制度である律令制を取り入れ、奈良時代には本格的に律令制に基づいて国を治めるようになりました。都には国家全体の行政事務を執り行う二官八省の役所が置かれ、全国を68の国に分けて国毎に国衙という役所を置きました。さらにその下の郡には郡衙という役所が置かれ、それぞれに役人が配置されました。全ての人々は戸籍に記載され、納税、兵役などの義務を負うようになりました。


蔵骨器



土器作り

琥珀玉作り

展示解説会

遺跡ガイド

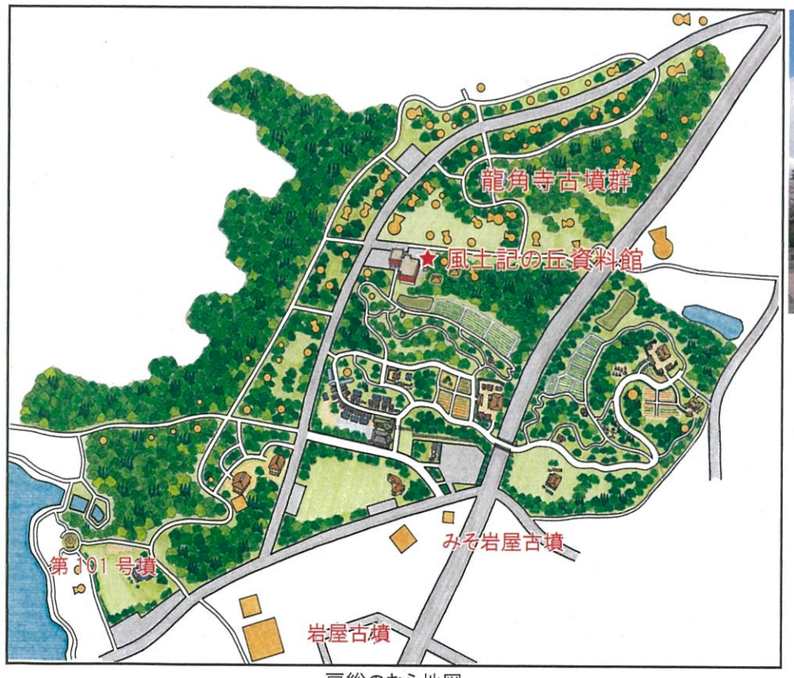
風土記の丘資料館では、年間を通じて様々なイベントを開催しています。ぜひご参加ください。

千葉県立房総のむら風土記の丘資料館展示解説
編集・発行／千葉県立房総のむら指定管理者
公益財団法人千葉県教育振興財団
房総のむら
〒270-1506　千葉県印旛郡栄町龍角寺 1028
TEL 0476-95-3333　FAX 0476-95-3330
http://www2.chiba-muse.or.jp/MURA/
発　行　日／令和5(2023) 年4月29日

千葉県立房総のむら
風土記の丘資料館
展示解説

印旛沼を望む高台にある風土記の丘資料館周辺には大小115基の古墳が造られ、一帯は資料館の北に位置する寺院の名前にちなんで龍角寺古墳群と呼ばれています。龍角寺古墳群は、全国でも有数の古墳時代後期・終末期（6世紀～7世紀）の古墳群として国の史跡に指定されています。なかでも、一辺約80mの岩屋古墳は、7世紀では全国最大級の方墳として知られています。また、龍角寺は白鳳様式（飛鳥時代後期、7世紀後半）の薬師如来坐像を本尊として今に伝える、関東屈指の古刹です。

本資料館では、龍角寺古墳群と龍角寺を中心に県内各地で発掘された旧石器時代から平安時代の出土品を展示し、最新の調査成果を基に、房総の歴史を紹介しています。



房総のむら地図

風土記の丘資料館外観

房総のむらにようこそ!
房総のむらマスコットキャラクター
ぼうじろー

千葉県立 房総のむら

第１展示室　龍角寺古墳群と龍角寺

古墳の世界へようこそ！

今からおよそ 1,800 年前、稲作によって生活が豊かになったムラには、ムラを治める代表者が生まれました。彼らは富と力を示すため、土を盛り上げた立派な墓を築くようになります。これを古墳と呼んでいます。

古墳には日本独特の前方後円墳、前方後方墳のほか、丸い円墳、四角い方墳があります。主な古墳には土を焼いて作った埴輪が立てられています。始めの頃の埴輪は円筒形や壺形で、古墳を守ったり、この世とあの世の境界を示すために立てられました。やがて古墳時代の中頃になると、人物や動物、家などの埴輪が登場して、葬送の儀式などを表すようになります。

①龍角寺 101 号墳出土埴輪

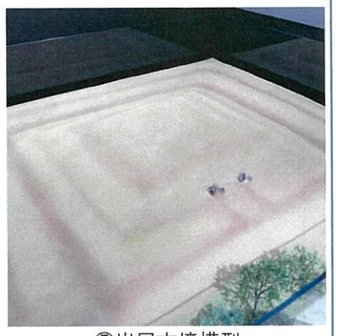
前方後円墳から方墳へ

6世紀の終わり頃になると、前方後円墳を象徴としたヤマト王権の政治体制に変革の機運が高まりました。前方後円墳は近畿地方の中心部でいっせいに築かれなくなり、まもなく西日本一帯で造営が停止します。王族や豪族の墓は、当時の先進地域であった中国や朝鮮半島の王陵にならって方墳や円墳に変わりました。しばらくの間、前方後円墳の威光を保ち続けた房総でも、7世紀になると各地の主な首長墓が方墳へ変わっていきます。

②浅間山古墳石室模型

③公津原古墳群出土遺物

④瓢塚 40 号墳石棺

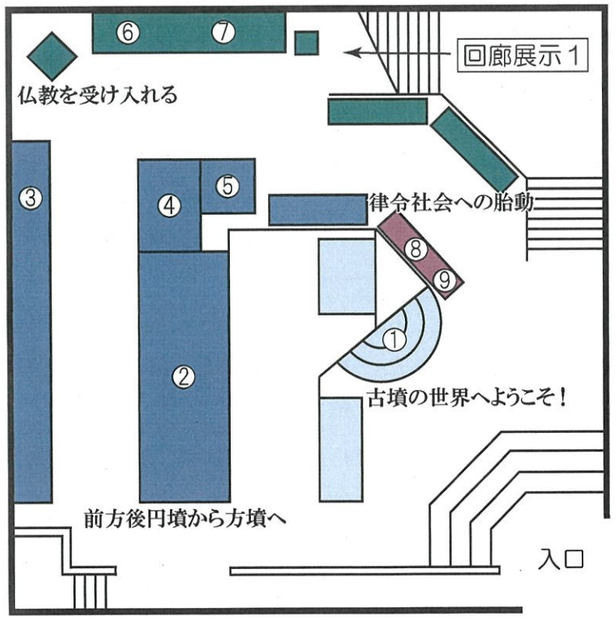

⑤岩屋古墳模型

仏教を受け入れる

前方後円墳が築かれなくなった6世紀の終わり頃は、中国隋・唐朝の律令制などにならった新たな体制に大転換する時代でした。外国の宗教であった仏教を本格的に取り入れたのもこの時代です。関東地方の豪族たちも新たな時代の担い手となって仏教を受け入れ、寺院を築いています。

⑥古代寺院出土瓦

⑦龍角寺仏頭（複製）

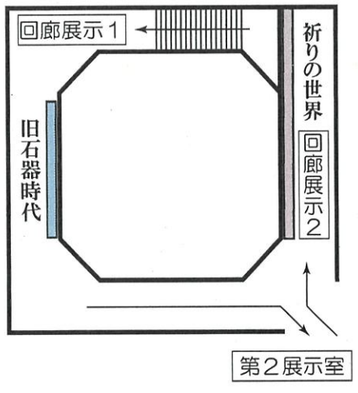


律令社会への胎動

飛鳥時代（6世紀末～7世紀）になると、畿内王権は中国大陸や朝鮮半島の先進的な政治体制を取り入れて次の律令制への準備を進めていきました。古墳時代の終わりの頃、東北地方南部から九州には国造と呼ばれる地方官が置かれ各地を治めていましたが、畿内王権はこれらの国造勢力を再編し、次の律令制の時代の国家体制へと移行していきました。

⑧木簡（複製）

⑨唐三彩陶枕
（千葉県教育委員会蔵）



回廊展示１
大地に刻まれた記憶

旧石器時代

氷河期末期の厳しい環境下の旧石器時代は、大陸から移り住んだ人が日本各地に広がり生活を営み始めました。人々は石や木を加工して高度な技術で多種多様な道具を製作し、集団で獲物を追って、日々の糧を得ていました。房総半島でも、北総地域を中心に人々の生活痕が多く残されています。

成田市古込遺跡（三里塚No.55）出土石器

回廊展示２

祈りの世界

古来、人間は日々の安寧な生活、子孫繁栄、健康、さらには死後の世界の安らぎなどを求めて神や仏に祈りを続けてきました。そしてその行為は、「まつり」や「儀式」として生活の中に根付いていました。「まつり」や「儀式」には特別な道具やミニチュア類が使用されており、私たちは発掘調査によって出土した資料の中にそれらを見出すことができます。

土偶